

市民病院だより

大崎市民病院理念・基本方針

【病院理念】

～市民が安心できる医療の提供～

【基本方針】

市民に適切な医療の提供
地域に貢献する医療の構築
健全経営の確保



新しい手術支援ロボットを導入します

当院では、令和4年度に手術支援ロボットを導入し、ロボット手術を開始する予定です。これによって、手術中の患者さんの負担を軽減することができたり、術後の回復が早くなることが期待されます。

現在は、手術用ロボットの運用を開始するために、対象疾患医師や麻酔科医師、手術室看護師などから構成する検討チームをつくり、体に優しく安全で確実な手術を目指して準備を行っています。

手術支援ロボットとは

手術支援ロボットとは、患者の負担が少ない内視鏡手術である従来の腹腔鏡（ふくくうきょう）手術をさらに進化させ、より正確で高度な手術を行うために開発された手術器具です。一般的にロボットというと人工知能を搭載した精密機械を連想しますが、手術支援ロボットは、術者の手指の動きを再現する手術支援システムです。術者は3Dモニターを見ながら遠隔操作で装置を動かすと、その手の動きが光ケーブルを通じて、手術用鉗子（かんし）や内視鏡カメラを正確に動かすことで手術を行います。



ロボット手術の対象

消化器疾患でロボット支援手術の対象となりうるのは、胃がん、大腸がん、食道がん、すい臓がんですが、当院ではまず胃がんの手術を開始し、徐々に適応を拡大していく方針です。胃がんでのロボット手術の対象は、内視鏡治療の適応とならない根治手術が必要なすべての患者さんです。

また、泌尿器疾患では、前立腺がん、腎臓がん、膀胱（ぼうこう）がん、副腎腫瘍です。

当院ではまずロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術を開始する予定であり、その後順次他の腫瘍に対するロボット手術を始める予定です。

患者さんのメリット

ロボット手術のメリットは、まず腹腔鏡手術と同様、体への負担が少ないことです。数か所の小さな切開部から手術を行うため、傷が小さく出血も抑えられます。そのため手術後の回復が早く、患者さんの負担が軽減されます。また、高画質な3D画像で手術画像が映し出されるため、術者はより正確に体内の状況を把握することができます。それに加えて、ダヴィンチの鉗子は多関節を持ち、従来

◆ロボット手術の対象となりうる疾患一覧

消化器疾患	胃がん、大腸がん 食道がん、すい臓がん
泌尿器疾患	前立腺がん、腎臓がん 膀胱がん、副腎腫瘍

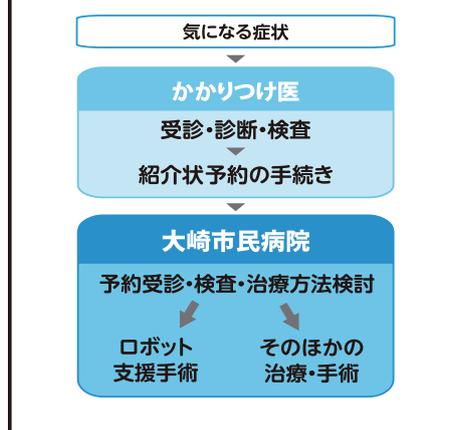
の開腹手術や腹腔鏡手術では不可能であった角度から、自由自在に手術部位へのアプローチができるようになります。さらに手ぶれ補正機能を備えていることで、より正確な手術が可能になります。

さらに、手術費用に関して、以前は自由診療で行われていましたが、平成30年から保険収載され、全て保険診療で行われています。他の手術と同様、高額療養費制度の対象となるため、ロボットを使用する事で患者さんの負担は大幅に高くなることはありません。

ロボット手術のメリット

- 傷が小さい
- 高画質な3D画像
- 出血が少ない
- 手振れ補正搭載
- 回復が早い
- 高額療養費制度の対象
- 不可能だった角度から施術可能

手術を受けるまでの流れ



安全かつ確実な手術完遂に向けて

手術支援ロボットを導入すれば、すぐに次の日から使用できるものではなく、ロボット手術を行うには診療科毎に認定を受ける必要があります。ロボット手術を受けるため、専門の学会が設けた厳しい基準をクリアした術者や施設のみがロボット手術に携わることができます。

導入には専門のチームが必要で、チームは術者、助手、麻酔科医師、看護師、臨床工学技士から構成されます。シミュレータを用いたトレーニング、自施設手術室において模擬患者の体位作成や手術支援ロボットの操作方法が必要になります。また、ロボット支援下手術を実際に見学し、知識と技術の共有、手術手技の向上を行います。

手術の大原則は安全かつ確実に手術を完遂することです。

手術を受けた患者さんから当院で手術を受けて良かったと感じていただけるように取り組んでいきたいと思えます。



地域医療連携室からのお知らせ

かかりつけ医を持ちましょう

当院は上記の役割を担っていくとともに、患者さんにとって身近な医療機関と相互に連携を深め、地域全体で医療資源のより効果的、効率的な活用を推進しております。この、身近な医療機関のことを「かかりつけ医」と呼んでおり、本院では、お一人お一人がかかりつけ医を持つことを勧めております。

当院では、かかりつけ医をお探しの方に対し、ウェブサイトや1階患者サポートセンターにて、当院と相互に連携する医療機関（登録医・こどもサポート医）の情報提供を行っておりますので、ぜひご活用ください。

早期発見・早期治療が重要です

初期症状は検査結果でしか見つけられないことが多くあります。年に一度の定期健診でご自身の健康状態と経過を確認する意識を持ちましょう。

定期検診の結果、再検査・要治療となった方で、本院での精密検査（二次検診）を希望される方については、予約を受付け、診療を案内しております。

問 本院 予約センター

☎ 0120・003・934

時間 平日 午前8時30分～午後5時

大崎市民病院の受診について

医療保険制度の中で、国や県は医療機関の病床数や機能に応じた役割の分担を明確にし、医療機関がその役割に応じて協力し、地域全体で「患者中心の医療」を行うことを推進しています。

本院では高度・専門的な検査や手術などの治療や、入院や救命を要する患者さんの受入を担当します。

このため、本院の受診には、かかりつけ医の先生からの紹介状と事前の診療予約が必要です。

専門的・高度な治療は、大崎市民病院へ

日常的な診療は、お近くのかかりつけ医へ

紹介状

はお持ちですか？

予約

は取得していますか？

紹介状がない場合、治療費に加え、初診時保険外併用療養費ご負担いただく場合があります。

初診時の保険外併用療養費

紹介状がなく受診を希望される場合、治療費に加え、ご負担いただく料金です。

5,500円 (税込) ▶ 7,700円 (税込)

再診時の保険外併用療養費

当院医師より他院へ紹介する旨の申し出を行った患者さんのうち、引き続き当院への通院を希望される場合、治療費に加え、ご負担いただく料金です。

2,750円 (税込) ▶ 3,300円 (税込)

また、当院での検査や治療がひと段落し、病状が安定した方については、かかりつけ医療機関等で診療を継続していただきます。医療機関の役割分担の推進に、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、医療保険制度の改正に伴い、初診時及び再診時に受診の都度ご負担いただく保険外併用療養費について、令和4年10月1日から、次のとおり変更予定となります。

問 紹介状および予約に関して

問 地域医療連携室 地域医療連携係

☎ 23・3311 (内線1202)

問 初・再診時の保険外併用療養費に関して

問 医事課 医事係

☎ 23・3311 (内線1113・1114)

職員募集

1 募集人数・受験資格

職種	募集人数	職務の内容
助産師	5人程度	当病院事業の助産師および看護師業務を行う
看護師	45人程度	当病院事業の看護師業務を行う
看護師兼保健師	2人程度	当病院事業の看護師業務および保健師業務（保健指導）を行う

2 試験日・受付期間

試験日	受付期間
令和4年 8月28日（日）	令和4年7月4日（月）～8月5日（金）



◀ 受験資格・申込方法などの詳細は、当院ウェブサイトの求人・採用案内をご覧ください。受験申込書・履歴書もこちらからダウンロードできます。

潜在看護師研修会のお知らせ

大崎市民病院では、実技研修などにより職場復帰への自信や手応えを感じていただくきっかけとなればと考え、研修会を開催しています。多くの方に御参加いただくことを心よりお待ちしております。

対象	看護師の資格を有しながら、さまざまな理由で離職している方
定員	10人程度
日程	令和4年7月23日（土） 午前9時30分～12時00分
申込期限	令和4年7月8日（金）

※コロナウイルス感染症の流行状況により予定が変更となる場合があります。

☎ 人事厚生課人事係 ☎ 23-3311（内線3603・3604）

アンケートにご協力ください

当院では、病院の医療機能や役割、取組などをご理解いただくため、広報誌「市民病院だより」を発行しています。誌面づくりの参考にさせていただきますため、アンケートを実施していただきますので、下記QRコードを読み取りいただき、専用サイトからご回答をお願いいたします。



▲ バックナンバー



▲ アンケート

他の病院利用者の迷惑とならないように、マナーを守りご利用ください。また、医療行為への影響などがある場合は、病院職員から利用中止をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。

注意事項

スマートフォンやパソコンなどでWiFiを有効にして、*SSID接続後、ブラウザを開き利用規約の内容に同意の上、ご利用ください。

接続方法

5月23日から、院内で無料WiFiがご利用いただけるようになりました。ご利用の際は、利用規約に同意の上、ご自身の責任においてご利用ください。

院内無料Wi-Fiの運用を開始

◆利用可能エリア

エリア	ほなみモール 公衆電話コーナー エレベーター前 病棟ラウンジ	病室、診察室 外来待合室 廊下透析室 中央処置室 化学療法室 患者サポートセンター	ICU、NICU 手術室
通話	○	×	×
メール WEB	○	○	×

※マナーに配慮した利用をお願いいたします。

市民病院だより No.25 令和4年7月1日発行【年4回発行】

大崎市民病院 経営管理部経営企画課 TEL 0229-23-3311（内線 3705）

編集・発行

〒989-6183 大崎市古川穂波三丁目8番1号

Web <http://www.h-osaki.jp> E-Mail kikaku@h-osaki.jp



日本医療機能評価機構
認定第 JC2159号